



福岡県青少年赤十字

リーダーシップ・トレーニング・センター



03 力を合わせて！フィールドワーク



フィールドワークは野外におけるプログラムで、コースの途中に関所を設け、ゲーム形式で課題をクリアしていきます。それぞれの関所には大切な意図が隠されています。

参加児童・生徒は、各ホームルームごとに協力しながらコースをグループ活動します。

フィールドワークには、トレーニング・センターで学んだり、体験したりした各種の知識、技術を野外において復習する意味が含まれています。

トレセンに参加したみんなの声 04

【高校生】

初日は何をすればいいかわからず、指示を待つことしか出来ませんでした。ですが、2日、3日と時間が経つにつれ、自分の意見を言えるようになったり、自分からVS活動に取り組みたりと、自分の成長を感じることが出来ました。自分から提案したり、周りを見れるようになっていたなと思いました。
トレセンに参加できて本当に良かったです。来年もぜひ参加したいです。

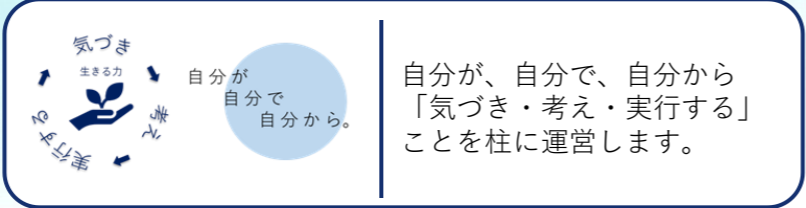
【小学生】 ※ワークショップから抜粋

ぼくは、学校でゴミ拾い登校をしようと思いました。
この取り組みをすると学校のまわりもきれいになるし、みんなの心もきれいになればいいなと思いました。
そして、他の取り組みまで「ぼくも！」「わたしも！」と協力できるようになればいいなと思いました。

01 リーダーシップ・トレーニング・センターとは

リーダーシップ・トレーニング・センター（以下、トレセン）は、青少年赤十字の教育プログラムのひとつで、青少年赤十字活動ならびに各学校の中核となる「児童・生徒のリーダー」の養成を目的としています。

ここで言う「リーダー」とは、ある特定のメンバーだけがリーダーシップを取るのではなく、グループの中で役割を持ち、仕事の内容や時間と場所によって、メンバー全てが「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目的としています。



V・S活動と「生きる力」02

トレセンでは、子どもたちに「自主自律」の精神を育むことを目指し、気づきを待つ指導者の「待ちの姿勢」や「指示（号令）のない生活」を大切に、先を見越した行動を習慣づける「先見性」を育て、「ボランティア・サービス（V・S）方式」による問題解決の手法を取り入れています。

V・Sとは、周囲の様々な問題に気づき、自ら進んで人の為に役立とうとする具体的な活動です。これらの教育手法は、先生の指導のもとで生かされ、子どもたちの「生きる力」を育むために役立ちます。



みんなの心もきれいに

自分の成長を感じた

気づき・考え・実行するの大切さ

リーダーは1人じゃない!

【中学生】

「気づき・考え・実行する」の重要性を学びました。
修学旅行などでは先生が指示を出してくださいますが、トレセンでは自分で動かなくはなりません。
周りがどうしているかを見る事も、自分で時間を気にしながら行動することも生きていくうえで大切だと学びました。

【小学生】

リーダーは1人じゃないという事が心に残りました。私は学級をいい学級にしたいです。そのためには、フィールドワークで学んだ仲間とのコミュニケーションや、仲間を見る注意深い生活があればきっといい学級になると思います。それぞれが得意なことを生かした取り組みがしたいです。

福岡県のトレセンは、小学生（高学年）から高校生までが、一堂に会し、毎年学校の夏休み期間（8月上旬）に、2泊3日の日程で、「県青少年自然の家」などの施設で開催します。詳細については、各学校に案内する実施要項をご覧ください。